



府知事・京丹後市長
10日 防衛相と会談

「安全確保、政府が約束」と受け入れ容認へ…

11日 京丹後市長に事実上の容認を「撤回せよ」と抗議!!



■9月11日、京丹後市役所前で「京都に米軍基地いらない」と街頭演説・市役所周辺アピールデモが行われた。報告する戸田「府民の会」事務局長

米軍レーダー基地容認するな! 丹後市役所前に200人

9月11日夕刻、「米軍基地建設反対丹後連絡会」は、京丹後市役所前で、街頭演説と市役所周辺アピールデモを行い、200人が参加しました。この行動には、京都市内からも参加がありました。

街頭演説では、戸田「府民の会」事務局長が、この間の取り組みを報告。地元・宇川の山本さんは、「みんなの手をつないで、子どもたちに安全・安心の未来を」と訴え。宇川憂う会の永井さんは、「誰一人、基地を歓迎していないのに、主権者や議会の意見を聞かずに市長が判断できるのか?、アメリカが戦争できるように、経ヶ岬の土地に、われわれの税金で基地をつくろうとしている」と訴えました。アピールデモ終了後、代表が京丹後市長に「住民合意のない米軍設置受け入れについて、条件を提示し、事実上、了承の表明をしたことに抗議し撤回を求め」、要請しました。

【要請書は、京都総評HPに掲載】

防衛相との会談

住民の安全・安心は? 国に責任を転嫁し見切り発車ねらう

9月10日、山田京都府知事と中山京丹後市長が小野寺防衛相と会談。防衛相は「政府として責任をもって対応する」と回答し、知事は、これを「安全確保など政府の責任で対応する約束をもらった」と評価し、記者会見で受け入れ方針を表明しました(「朝日」11日)。正式表明は、17日開会の定例府議会でする意向と各紙は報じています。

京丹後市長は、住民や議会の理解を得ることなく防衛省に条件提示を行い、事実上の受け入れを表明しようとしており、住民不在・議会軽視の行為です。また、市長が示した「確認事項」は、日本環境管理基準にもとづく米軍の環境評価の事前実施にもふれず、レーダーの出力・諸データの事前提示や救難・ドクターヘリの安全運航等に関する住民の不安や危惧に対し、防衛省が不十分な説明しかしていないことへの批判すらありません。しかも、アメリカの核戦争



計画の最前線の目となる米軍専用レーダーが、攻撃の対象になることはあっても、日本の防衛になるとは名ばかりであることは紛れのない事実です。

また、「政府が責任を持つ」と言いますが、この間のヘリ墜落事故や、頻繁に起こる米軍の犯罪でも、政府が責任を持つことができなかったのが事実であり、こうした無責任な大臣の「約束」発言で解決できる問題ではないことは明らかです。

13日、京都府へ 基地設置「受け入れ」反対を強く要請!! 住民の安心・安全最優先は、地方自治体の責務



13日、「府民の会」は、京都府知事に対し、住民の安全・安心を最優先し、米軍基地設置「受け入れ」に反対することを強く求める要請を行いました。

【府当局とのやりとりは裏面に。要請書は、京都総評HPに掲載】

京都府申し入れの主なやりと(要旨)

●「府民の会」は、戸田事務局長ら10名が「受け入れ」反対の要請書を京都府知事あてに提出しました。京都府当局は、辻村徳夫・総務調整課長ら3名が対応しました。

- Q. 府議会で近く正式「受け入れ」表明されると聞かぬか。
 A. 「9月議会中に、判断」と聞いている。
- Q. 府の「確認事項(5項目)」を防衛大臣は了解したのか
 A. (「受け入れ」)を判断していくうえで条件は了解されたと理解している。府として、協力していくことになる。
- Q. 理解とは、府の協力とは、具体的に何を指すのか。
 A. 住民の治安では、警察派出所、道路など、府としてやるべきことをやる。どれだけのものは、これからになる。
- Q. 大臣からの時期やスケジュールの話は。
 A. 出ていない。土地の手当てではできていない。地権者の問題もある。工事が始まってとは、ならない。
- Q. 主体はどこになるのか。
 A. 実施主体は、防衛省となる。府として手を下すことはない。
- Q. 防衛大臣との会談で環境調査をすると約束されたのか。
 A. 地位協定など、「求める」と要請したものは別として、当然されると思う。電磁波は、「参加会」の意見も聞き、問題はないと認識している。しかし、漁業者の意見もあることは認識している。職員の中に電磁波を知りえた者がいないもとで知見のある方に求めた。大きな影響はないと聞いている。
- Q. 京都府(5項目)、京丹後市(10項目)違いがあるが、了承されたのか。
 A. 両方とも、防衛大臣に了承された。
- Q. 現地説明会で「追加すべき」と出されたものを府として、どう考えるか。
 A. 経過はよくわからない。知事と市長との協議では、基本を示したと理解している。地位協定はいろいろあるが...
- Q. 府民の安全・安心は確保されたといえるのか。
 A. 「一定の条件」を示し、「これでいける」と大臣の回答(担保を得た)があった。

●要請団は、「安全・安心の確保は、地方自治体の責任であること」、京丹後市長は「オスプレイは来るのか？」など聞くといっていたが、住民の了解が得られていないのに、拙速に判断してよいのか。府民の意見を聞いてまとめた「5項目」ではなく、乱暴であること。知事が「ミサイル防衛に万全の体制」を要望に加えたことは、「標的になる」ことを示しているを改めて指摘し「受け入れ」に強く反対することを求めました。同時に、項目ごとにきちんと回答すること、追加した質問に答えることを要望しました。

たった40分で署名22筆「5日の宣伝」

「府民の会」 次回・街頭宣伝行動

9月26日(木)17:15~ 四條烏丸

9月5日、三条河原町の街頭署名宣伝。わずか40分あまりの間に、続々と22筆の署名が・・・丹後出身の学生は「お盆に帰ったら大変なことになっていた」と。留学生も母国語でサインしていただきました。



「府民の会」のチラシ・署名を使って各団体・地域でも宣伝を!



京都上空にもオスプレイが飛来...?

オスプレイ来るな! 日米合同演習反対! 10.6あいは野大集会

とき 10月6日(日)14時~ ところ 滋賀県 高島市・今津町「住吉公園」

主催・ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会

急いで 新FAX要請・署名を強めよう!!